

戦略の全体像

令和4年度

長期

ビジョン - 産業と観光の振興を通して長期的に達成したい墨田区の姿 -

本気の夢中が出会い、
世界からも注目されるまち。

戦略の視点 - ビジョン実現に向け重視する考え方 -

育む・繋げる・発する

中短期

TRENDS

社会経済状況のトレンド -1

SDGsへの対応



社会経済状況のトレンド -2

新型コロナウイルス
感染症への対応

SOCIAL

STRATEGY

戦略 -1

ものづくりによる
社会課題の解決

戦略 -2

地域内外の多彩な
交流の促進

戦略 -3

スモールビジネスの
創出による
賑わいづくり

戦略 -4

新型コロナウイルス
感染症の影響を
踏まえた
事業継続支援

ACTION

進捗管理の手法と評価の視点

2030年に向けてのKGI

進捗管理手法：分析や実態把握に要する期間及び事業の性質により、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）とOODAループ（観察・状況判断・意思決定・実行）の2つの手法を使い分け、「目標を設定の上、現状分析から課題を把握・発見し、その課題解決に向けて状況変化に合わせ、臨機応変に行動する」ことを重視する。

主要事業の見直し：各戦略に紐づけた主要事業は毎年の進捗管理の中で効果測定を行い、必要に応じて見直しを加え、戦略達成への寄与度を高める。

各戦略の達成度評価：主要事業の効果測定結果を踏まえ、各戦略に設定したKPIに基づく定量評価、及び先進事例や各施策の取組状況に代表される定性評価の両面から達成度を評価する。

戦略総体としてのビジョン達成への寄与度評価：各戦略の達成度の総合評価を踏まえながら、2030年を想定して設定したKGIに基づき判断する。

区内における経済成長率

2012～2016年	2030年
19.9%	プラス

区内産業の付加価値額の伸び率
(経済センサスを基に算出)

ものづくりによる社会課題の解決

概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、働き方や暮らしの変化、SDGsへの対応は加速し、様々な社会課題が可視化された。これに加え、少子社会・高齢社会におけるコミュニティの再生も喫緊の課題である。こうした課題をものづくりによるアプローチで解決していく。

都内屈指の多様性を誇る産業と人材の集積を背景に、様々な面で強みを持った事業者の集積・連携を図り、新規事業の発想から製品化、そして地域課題の解決までを一本の線として繋げることにより、強みの拡充や人材育成における効果、更には成果の地域への還元を目指す。

主な事業

ハードウェア・スタートアップ
拠点構想事業

プロトタイプ実証実験支援
事業

スタートアップ支援事業
(サブス区)

STEAM人材の育成事業

2024年までのKPI

社会課題解決型プロジェクトの実証実験数

基準値 (2020年)	2024年
2件	20件

戦略1の主要事業を中心に抽出

墨田区における先進事例



株式会社浜野製作所

2014年にオープンした新しいものづくりの発拠点「Garage Sumida」を中心にもものづくり相談に取り組む浜野製作所は、金属加工技術を基盤としたものづくりにより、社会課題の解決を目指す人たちを支援している。



貢献するSDGsターゲット

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



地域内外の多彩な交流の促進

概要

墨田区では区民同士や区内事業者同士が幅広く連携し、事業発展やまちづくりにおける強みとなっている。近年では、関係人口という考え方も注目され、働く人や訪れる人なども地域活動の担い手として捉えられている。

また、地域が持続的に発展し豊かに暮らしていくために、外国籍の方も含め、互いの文化を受容していかなければならないことは明らかである。

すみだの地域性や産業、歴史、文化等に関心を抱く、地域外の人や事業者との交流を活発化させることにより、継続的にすみだに関わり、地域の賑わい創出の新たな担い手確保を実現するとともに、地域外の人と交わることで、柔軟な発想で地域に魅力を再発見して発信していくよう、区民としての誇りを醸成する。

主な事業

すみだモダン事業

DMO（観光協会）連携事業

MICE事業

在住外国人と連携した情報発信事業

フロンティアすみだ塾事業

2024年までのKPI

墨田区を人に勧めたい割合

基準値（2021年）	2024年
58.8%	65.0%

住民意識調査

墨田区における先進事例



すみだ錦糸町河内音頭大盆踊りなど

墨田区では、会場全体が河内音頭の熱気に包まれる「すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り」や、隅田川流域を舞台としたアートプロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢（すみゆめ）」など、多彩なイベントや活動が行われている。

これらは地域の人たちが主役となって運営されており、地域全体でこのまちのファンづくりをしている。



貢献するSDGsターゲット

17 パートナースHIPで目標を達成しよう



スモールビジネスの創出による賑わいづくり

概要

価値観の多様化は、働き方にも影響を及ぼす。経済的豊かさだけを追求するのではなく、どう生きるかということを優先する働き方を選択する人が増えている。

地域や産業の多様性に富み、人の繋がりが濃い墨田区は、夢の実現を後押ししてくれる人や事業者のネットワークの存在という強みを有し、夢の実現にチャレンジする場として最適である。本区の強みを活かして夢への想いを本気で支え、夢の実現にチャレンジする人を誘引し、まちの活気と新陳代謝の促進を実現する。

主な事業

地域特性を活かす商店づくり事業

新たな商店街組織創出事業

観光資源データベース事業

チャレンジ支援資金斡旋事業

2024年までのKPI

区内サービス業の開業率

基準値（2016年）	2024年
12.0%	東京都の値を上回る

東京都の現状値は16.9%（経済センサスを基に算出）

墨田区における先進事例



株式会社ショコラティエ川路

川路さんは、2017年に墨田区で「ショコラティエ川路」をオープンした。

店舗の開業にあたっては、「すみだビジネスサポートセンター」の相談窓口や融資といった区の支援施策を活用し、「フロンティアすみだ塾」への入塾をきっかけに経営者同士の繋がりも生まれた。



貢献するSDGsターゲット



新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業継続支援

概要

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大は、ビジネスや生活などあらゆる面において、これまでとは違った形で活動する必要に迫られることとなった。そうした中、これまで培ってきた人材・技術・ネットワーク等の強みを時流に合わせて編集し、活用していくことが必要となる。

社会の変容に対応していくための柔軟な繋がりを育むことが、小さな芽を大きな夢へと結実させることへと繋がっていく。これまで培われてきた強みを繋げ、変化への対応力を備えた懐の深いまちづくりを実現する。

主な事業

- ものづくりプロモーション事業
- 魅力発信の基盤づくり事業
- すみだビジネスサポートセンター事業
- 産学官金連携事業

2024年までのKPI

産業観光部の実施事業に関連して生まれた連携取組数

基準値（2021年）	2024年
34件 / 年	38件 / 年

戦略4の主要事業を中心に抽出

墨田区における先進事例



キャッシュレス化の普及

更なるキャッシュレス化推進とコロナ禍における区内の消費喚起のため、区商連と連携し、「PayPay」の30%ポイント還元事業を2回実施した。

このように、区内事業者等が新型コロナウイルス感染症のダメージから立ち上がり、前向きに取り組んでいくための土壌づくりを、各関係機関等と連携して行っていく。

貢献するSDGsターゲット

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう